

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や保管されている試料（血液）を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	異常フィブリノゲン血症検出方法の評価
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 検査部 (職名) 臨床検査技師 (氏名) 本田 貴嗣
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日
対象となる方	愛媛大学医学部附属病院長の許可日から 2026 年 3 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち、APTT、PT、フィブリノゲンを検査された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、現病歴、既往歴、治療歴 (利用する試料) 通常の診療で使用した後に残った試料（血液）
研究の概要 (目的・方法)	フィブリノゲンの測定には多くの医療機関でトロンビン時間法（Clauss 法）が採用されています。しかし、Clauss 法のみでは、フィブリノゲン機能異常症を正確に検出することは困難です。最大散乱光強度を利用した方法や近年登場したリサーチ項目を使用することで、フィブリノゲン機能異常症のスクリーニング検査として有効であることが報告されました。本研究では上記の検出方法の評価を目的としています。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。

	また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院 検査部 本田貴嗣 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089－960－5620